

「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」新旧対照表

一般高齢者【基本】調査	1ページ
一般高齢者【重点】調査	3ページ
要支援・要介護認定者調査	5ページ
第2号被保険者調査	8ページ
ケアマネジャー調査	10ページ
介護保険サービス事業所調査	12ページ

一般高齢者【基本】調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度	令和元年度	備考		
1. ご本人について	- 調査票の記入者	- 調査票の記入者			
	- 現在の状況(本人の不在の事情)	- 現在の状況(本人の不在の事情)			
	1 性別	1 性別			
	2 年齢	2 年齢			
	3 お住まいの地区	3 お住まいの地区			
	4 同居者	4 同居者			
	4-1 家族や親戚との連絡	4-1 家族や親戚との連絡			
	4-2 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)	4-2 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)			
	4-3 日中の独居状況	4-3 日中の独居状況			
	5 同居者以外に手助けを頼める人の有無	5 同居者以外に手助けを頼める人の有無			
	5-1 手助けを頼める人	5-1 手助けを頼める人			
	6 自身の収入	6 自身の収入			
	7 現在の暮らし向き	7 現在の暮らし向き	◇ 選択肢の変更		
	8 今後の就業意向	8 今後の就業意向			
	8-1 働きたい(続けたい)理由	8-1 働きたい(続けたい)理由			
	8-2 働けない(働きたくない)理由	8-2 働けない(働きたくない)理由			
	9 新宿シルバー人材センターの認知度	9 新宿シルバー人材センターの認知度			
	2. 健康状態や健康づくり等について	10 健康状態	10 健康状態	◇ 設問文、選択肢の変更	
		11 治療中の病気の有無	11 治療中の病気の有無		
11-1 治療中の病気の種類		11-1 治療中の病気の種類			
12 食事について気をつけていること			×		
13 食生活について気になっていること			×		
14 誰かと一緒に食事をすること			×		
15 同居している人と夕食を食べる頻度			×		
16 筋力や体力の衰え			×		
17 足腰・関節に痛みを感じる事			×		
18 足腰の健康や、骨を丈夫にするためにしていること			×		
19 日常生活であてはまること			×		
		11-2 受診している医療機関	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※変更なし	
		12 かかりつけ医の有無	●		
		12-1 かかりつけ医がない理由	●		
3. 在宅療養等について			13 介護が必要になった場合の生活場所	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※変更なし
			14 在宅療養の意向	●	
			15 在宅療養の可能性	●	
		15-1 在宅療養が難しいと思う理由	●		
		16 最期を迎えたい場所	●		
4. 人生の最終段階における医療について		17 ご家族と話し合った経験	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※変更なし	
		17-1 全く話し合ったことがない理由	●		
		18 エンディングノートの作成	●		
5. 緩和ケアについて		19 がんの「緩和ケア」の認知度	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※「緩和医療・ケア」を「緩和ケア」に変更	
		20 がんの「緩和ケア」の利用意向	●		
		21 がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向	●		

一般高齢者【基本】調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度		令和元年度		備考	
6. 歯科について			22	かかりつけ歯科医の有無	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※変更なし
			23	往診してくれる歯科医院の認知度	●	
7. 摂食嚥下(食べる機能)について			24	食べる機能について	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問※変更なし 平成28年度一般高齢者【重点】の設問※変更あり
			24-1	専門家に相談したことの有無	●	
8. 薬局について			25	薬をもらう薬局の特定	●	平成28年度一般高齢者【重点】の設問 ※変更なし
			25-1	薬の説明を聞いたり、相談することの可能性	●	
			26	お薬手帳の活用状況	●	
9. お住まいについて	20	居住年数			×	
			27	住まいにおける不便・不安	●	
	23	現在の住まいで不便や不安を感じていること	27-1	住まいに不便・不安を感じる理由	◇	設問文、選択肢の変更
	21	住まいの形態	28	住まいの形態	◇	設問文、選択肢の変更
	21-1	戸建ての階数			×	
	21-2	集合住宅の階数			×	
			28-1	借家の種類	●	
	22	住まいのエレベーターの設置状況			×	
			28-2	住まいの賃料	●	
	24	現在の住まいに住み続けること			×	
24-1	住み替え先			×		
10. 日ごろの生活について	25	外出頻度			×	
	26	ご近所付き合い			×	
	27	友人・知人と会う頻度			×	
	28-1	多世代交流の必要性			×	
	28-2	多世代交流の頻度			×	
	29-1	地域のつながりの必要性			×	
	29-2	地域のつながりの実感			×	
11. 介護予防について	30	介護予防についての関心の有無			×	
	31	希望する介護予防教室の内容			×	
12. 介護保険制度について	32	介護保険のサービスと費用負担	29	介護保険のサービスと費用負担	◇	説明文の変更
13. 権利擁護について	33	成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人			×	
			30	成年後見制度の認知度	●	
	34	成年後見制度を利用する際、期待する役割	31	成年後見制度を利用する際、期待する役割	◇	設問文、選択肢の変更
			32	成年後見制度の利用意向	●	
			32-1	成年後見制度の利用したくない理由	●	
	35	成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割			×	
			33	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときの成年後見制度の利用意向	●	
		33-1	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときに成年後見制度の利用したくない理由	●		
36	新宿区成年後見センターの認知度			×		
14. 災害時の支援などについて	37	災害時に同居者以外で頼りになる人の有無	34	災害時に同居者以外で頼りになる人の有無		
	37-1	災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄	34-1	災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄		
			35	災害時要援護者名簿の認知度	●	
15. 健康・福祉サービスの情報や相談窓口について	38	高齢者総合相談センターの名称の認知度	36	高齢者総合相談センターの名称の認知度		
	39	高齢者総合相談センターの機能の認知度	37	高齢者総合相談センターの機能の認知度		
	40	高齢者総合相談センターの所在地の認知度	38	高齢者総合相談センターの所在地の認知度		
	41	健康や福祉サービスに関する情報の入手手段	39	健康や福祉サービスに関する情報の入手手段		
	42	健康や福祉サービスに関する情報量の充実度	40	健康や福祉サービスに関する情報量の充実度		
16. 自由意見	43	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	41	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見		

一般高齢者【重点】調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度	令和元年度	備考	
1. ご本人について	- 調査票の記入者	- 調査票の記入者		
	- 現在の状況(本人の不在の事情)	- 現在の状況(本人の不在の事情)		
	1 性別	1 性別		
	2 年齢	2 年齢		
	3 お住まいの地区	3 お住まいの地区		
	4 同居者	4 同居者		
	4-1 家族や親戚との連絡	4-1 家族や親戚との連絡		
	4-2 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)	4-2 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)		
	4-3 日中の独居状況	4-3 日中の独居状況		
	5 同居者以外に手助けを頼める人の有無	5 同居者以外に手助けを頼める人の有無		
	5-1 手助けを頼める人	5-1 手助けを頼める人		
	6 就業状況	6 就業状況		
	7 現在の暮らし向き	7 現在の暮らし向き	◇ 選択肢の変更	
		8 生涯で一番長く就いていた職業	●	
2. 健康状態や健康づくり等について	8 健康状態	9 健康状態	◇ 設問文、選択肢の変更	
	9 治療中の病気の有無		×	
	9-1 治療中の病気の種類		×	
	9-2 受診している医療機関		×	
		10 身長・体重	●	
		11 昨日食べた食品	●	
		12 普段食べている物の購入場所	●	
		13 誰かと一緒に食事をする事	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更なし	
		14 同居している人と夕食を食べる頻度	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更あり	
		15 日常生活で体を動かすこと	●	
		16 運動の種類別の頻度	●	
		17 足腰を鍛えるためには筋力トレーニングが必要であることの認知度	●	
		18 日常生活であてはまること	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更あり	
		19 日常生活の中で尿もれや尿失禁した経験	●	
		19-1 尿もれが心配で外出するのを控えた経験	●	
		19-2 尿もれの対処方法	●	
		10 かかりつけ医の有無		×
		10-1 かかりつけ医がいない理由		×
		11 過去1年以内に入院した経験		×
		11-1 退院にあたって困ったこと		×
		11-2 退院にあたっての相談先		×
3. 介護予防について		20 介護予防についての関心の有無	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更あり	
		21 希望する介護予防教室の内容	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更なし	
4. 日ごろの生活について		22 日頃の状態	●	
		23 外出頻度	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更あり	
		24 ご近所付き合い	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更なし	
		25 友人・知人と会う頻度	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更あり	
		26 地域活動やボランティア活動等の状況	「8.地域での支え合いについて」の間18から移動※変更なし	
		26-1 今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向	「8.地域での支え合いについて」の間18-1から移動※変更なし	
		27-1 多世代交流の必要性	● 平成28年度一般高齢者【基本】の設問※変更なし	
	27-2 多世代交流の頻度	●		
5. 歯科について	12 かかりつけ歯科医の有無		×	
	13 往診してくれる歯科医院の認知度		×	
6. 摂食嚥下(食べる機能)について	14 食べる機能について		×	
	14-1 専門家に相談したことの有無		×	
	15 食べる機能が衰えてきた時の相談先の認知度		×	
	16 薬をもらう薬局の特定		×	

一般高齢者【重点】調査

7. 薬局について	16-1	薬の説明を聞いたり、相談することの可能性			×		
	17	お薬手帳の活用状況			×		
8. 地域での支え合いについて	18	地域活動やボランティア活動等の状況			×	「4. 日ごろの生活について」の問26へ移動	
	18-1	今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向			×	「4. 日ごろの生活について」の問26-1へ移動	
	19	地域活動やボランティア活動等に参加しやすい形			×		
			28-1	地域のつながりの必要性		●	平成28年度一般高齢者【基本】の設問 ※変更なし
			28-2	地域のつながりの実感		●	
			29	地域の人から期待、頼りにされること		●	
			30	地域支え合い活動にあるとよい内容		●	
			31	地域支え合い活動への参加意向		●	
			31-1	地域支え合い活動に参加する際の障壁		●	
			31-2	地域支え合い活動に参加する場合の立場		●	
9. 支援を必要とする高齢者を支えるしくみづくりについて	20	高齢者の身の回りの世話やボランティア活動への参加意向	32	高齢者の身の回りの世話やボランティア活動への参加意向			
	20-1	高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由	32-1	高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由			
	21	ボランティア活動をしたことに対する対価を受け取ること	33	ボランティア活動をしたことに対する対価を受け取ること			
	22	自分が担うことができそうな支援・サービス	34	自分が担うことができそうな支援・サービス			
	23	ボランティア活動を増やしていくに必要なサポート	35	ボランティア活動を増やしていくに必要なサポート			
9. 認知症について	24	この1年間のもの忘れ、理解・判断力の低下の状況	36	この1年間のもの忘れ、理解・判断力の低下の状況			
	24-1	もの忘れや理解・判断力の低下についての相談の有無	36-1	もの忘れや理解・判断力の低下についての相談の有無			
	24-1-1	もの忘れや理解・判断能力低下についての相談先	36-1-1	もの忘れや理解・判断能力低下についての相談先	◇	選択肢の変更	
	25	自身でのその日の活動の判断能力	37	自身でのその日の活動の判断能力			
	26	食事の状況	38	食事の状況			
	27	意思の伝達	39	意思の伝達			
	28	5分前の記憶	40	5分前の記憶			
	29	自身や家族が認知症になったときのことについて考えたことの有無	41	自身や家族が認知症になったときのことについて考えたことの有無			
	29-1	自身や家族等が認知症になったときのことについて考えた内容				×	
			42	自分が認知症になっても大切にしたいこと		●	
	30	認知症が早期に発見された場合、必要な支援	43	認知症が早期に発見された場合、必要な支援			
	30-1	認知症に関して必要な情報提供				×	
			44	認知症に関する事業やサービスの認知度		●	
10. 在宅療養等について	31	介護が必要になった場合の生活場所				×	
	32	在宅療養の意向				×	
	33	在宅療養の可能性				×	
	33-1	在宅療養が難しいと思う理由				×	
11. 人生の最終段階における医療について	34	最期を迎えたい場所				×	
	35	ご家族と話し合った経験				×	
	35-1	全く話し合ったことがない理由				×	
	36	エンディングノートの作成				×	
12. 緩和医療・ケアについて	37	がんの「緩和医療・ケア」の認知度				×	
	38	がんの「緩和医療・ケア」の利用意向				×	
	39	がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向				×	
13. 自由意見	40	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	45	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見			

要支援・要介護認定者調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度		令和元年度		備考	
1. ご本人について	-	調査票の記入者	-	調査票の記入者		
	-	現在の状況(本人の不在の事情)	-	現在の状況(本人の不在の事情)		
	1	性別	1	性別		
	2	年齢	2	年齢		
	3	お住まいの地区	3	お住まいの地区		
	4	同居者	4	同居者		
	4-1	家族や親戚との連絡	4-1	家族や親戚との連絡		
	4-2	同居者の年齢(全員65歳以上か否か)	4-2	同居者の年齢(全員65歳以上か否か)		
	4-3	日中の独居状況	4-3	日中の独居状況		
	5	同居者以外に手助けを頼める人の有無	5	同居者以外に手助けを頼める人の有無		
	5-1	手助けを頼める人	5-1	手助けを頼める人		
	6	自身の収入源	6	自身の収入源		
	7	昨年1年間の自身と家族の年間収入総額			×	
	8	現在の暮らし向き	7	現在の暮らし向き	◇	選択肢の変更
2. お住まいについて	9	居住年数			×	
	10	住まいの形態			×	
	10-1	戸建ての階数			×	
	10-2	集合住宅の階数			×	
	11	住まいのエレベーターの設置状況			×	
			8	住まいにおける不便・不安	●	
	12	現在の住まいで不便や不安を感じていること	8-1	住まいに不便・不安を感じる理由	◇	設問文、選択肢の変更
			9	住まいの形態	◇	設問文、選択肢の変更
		9-1	借家の種類	●		
		9-2	住まいの賃料	●		
13	現在の住まいに住み続けること	10	現在の住まいに住み続けること			
14	在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの	11	在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの			
3. 日ごろの生活について	25-1	地域のつながりの必要性	12-1	地域のつながりの必要性		
	25-2	地域のつながりの実感	12-2	地域のつながりの実感		
4. 要介護認定について	16	現在の要介護度	13	現在の要介護度		
	17	介護が必要となった主な原因	14	介護が必要となった主な原因		
5. 健康状態や健康づくり等について	18	治療中の病気の有無	15	治療中の病気の有無		
	18-1	治療中の病気の種類	15-1	治療中の病気の種類		
	18-2	受診している医療機関	15-2	受診している医療機関		
	19	かかりつけ医の有無	16	かかりつけ医の有無		
	19-1	かかりつけ医がいない理由	16-1	かかりつけ医がいない理由		
	20	過去1年以内の入院経験			×	
	20-1	退院にあたって困ったこと			×	
	20-2	退院にあたっての相談先			×	
6. 歯科医について	21	かかりつけ歯科医の有無	17	かかりつけ歯科医の有無		
	22	往診してくれる歯科医院の認知度	18	往診してくれる歯科医院の認知度		
					元「5. 健康状態や健康づくり等について」	

要支援・要介護認定者調査

項目	平成28年度		令和元年度		備考
	23	23-1	19	19-1	
7. 摂食嚥下(食べる機能)について	23	食べる機能について	19	食べる機能について	
	23-1	食べる機能について相談したことの有無			×
			19-1	専門家に相談したことの有無	●
	24	食べる機能が衰えてきた時の相談先の認知度			×
8. 薬局について	25	薬をもらう薬局の特定	20	薬をもらう薬局の特定	
	25-1	薬の説明を聞いたり、相談をすることの可能性	20-1	薬の説明を聞いたり、相談をすることの可能性	
	26	お薬手帳の活用状況	21	お薬手帳の活用状況	
9. 介護保険サービスの利用状況と利用意向	27	介護保険サービスの利用状況	22	介護保険サービスの利用状況	
	27-1	介護保険サービスを利用していない理由	22-1	介護保険サービスを利用していない理由	
	27-2	利用している介護保険サービスと満足度	22-2	利用している介護保険サービスと満足度	◇ 設問項目の変更
	27-3	介護保険サービスの利用に要する費用について	22-3	介護保険サービスの利用に要する費用について	◇ 利用者負担表記の変更
	28	新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス	23	新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス	◇ 選択肢の変更
	29	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	24	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	
			25	施設等への入所・入居についての考え	●
10. 緩和ケアについて	31	がんの「緩和医療・ケア」の認知度	27	がんの「緩和ケア」の認知度	◇ ※「緩和医療・ケア」を「緩和ケア」に変更
	32	がんの「緩和医療・ケア」の利用意向	28	がんの「緩和ケア」の利用意向	◇ ※「緩和医療・ケア」を「緩和ケア」に変更
	33	がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向	29	がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向	
11. 人生の最終段階における医療について	34	最期を迎えたい場所	30	最期を迎えたい場所	
	35	ご家族と話し合った経験	31	ご家族と話し合った経験	
	35-1	全く話し合ったことがない理由	31-1	全く話し合ったことがない理由	
	36	エンディングノートの作成	32	エンディングノートの作成	
12. 権利擁護について	37	成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人			×
			33	成年後見制度の認知度	●
	38	成年後見制度を利用する際、期待する役割	34	成年後見制度を利用する際、期待する役割	◇ 設問文、選択肢の変更
			35	成年後見制度の利用意向	●
			35-1	成年後見制度の利用したくない理由	●
			36	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときの成年後見制度の利用意向	●
			36-1	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときに成年後見制度の利用したくない理由	●
13. 災害時の支援について	40	災害時に同居者以外で頼りになる人の有無	37	災害時に同居者以外で頼りになる人の有無	
	40-1	災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄	37-1	災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄	
			38	災害時要援護者名簿の認知度	●
14. 健康・福祉サービスの情報や相談窓口について	41	高齢者総合相談センターの名称の認知度	39	高齢者総合相談センターの名称の認知度	
	42	高齢者総合相談センターの機能の認知度	40	高齢者総合相談センターの機能の認知度	
	43	高齢者総合相談センターの所在地の認知度	41	高齢者総合相談センターの所在地の認知度	
	44	健康や福祉サービスに関する情報の入手手段	42	健康や福祉サービスに関する情報の入手手段	
	45	健康や福祉サービスに関する情報量の充実度	43	健康や福祉サービスに関する情報量の充実度	
	46	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	44	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	
	47	主な介護者	45	主な介護者	

要支援・要介護認定者調査

項目	平成28年度		令和元年度		備考
	番号	内容	番号	内容	
15. 家族等介護者の状況について	48	主な介護者の性別	46	主な介護者の性別	
	49	主な介護者の年齢	47	主な介護者の年齢	
	50	主な介護者の要介護認定	48	主な介護者の要介護認定	
	51	宛名のご本人との関係	49	宛名のご本人との関係	◇ 選択肢の変更
	52	介護年数			×
			50	介護頻度	●
	53	副介護者の有無	51	副介護者の有無	
	54	現在の勤務形態	52	現在の勤務形態	
	54-1	働き方の調整	52-1	働き方の調整	
			52-2	今後も働きながら介護を続けていくこと	●
			53	現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護	●
			54	家族や親族の介護を主な理由とした退職の有無	●
	55	介護負担感	55	介護負担感	
	55-1	介護が負担である理由	55-1	介護が負担である理由	
56	介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと	56	介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと		
16. 認知症について	57	介護者の認知症の症状の有無	57	介護者の認知症の症状の有無	
	57-1	介護者の認知症についての相談先	57-1	介護者の認知症についての相談先	◇ 選択肢の変更
	57-1-1	認知症について相談していない理由			×
	57-2	身近な周囲の人々の認知症への理解			×
	57-3	認知症の介護で必要と思うこと	57-2	認知症の介護で必要と思うこと	
17. 自由意見	58	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	58	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	



第2号被保険者調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度	令和元年度	備考
1. ご本人について	- 調査票の記入者	- 調査票の記入者	
	- 現在の状況	- 現在の状況	
	1 性別	1 性別	
	2 年齢	2 年齢	
	3 お住まいの地区	3 お住まいの地区	
	4 世帯構成	4 世帯構成	
	5 就業状況	5 就業状況	
	6 現在の暮らし向き	6 現在の暮らし向き	◇ 選択肢の変更
2. 健康状態や健康づくり等について	7 家族等の高齢者の介護の経験	7 家族等の高齢者の介護の経験	
	8 健康状態	8 健康状態	選択肢の変更
	9 治療中の病気の有無	9 治療中の病気の有無	
	9-1 治療中の病気の種類	9-1 治療中の病気の種類	
	9-2 受診している医療機関	9-2 受診している医療機関	
	10 40代から取り組んだほうがよいこと	10 40代から取り組んだほうがよいこと	
	11 現在、実践していること	11 現在、実践していること	
	12 かかりつけ医の有無	12 かかりつけ医の有無	
3. 日ごろの生活について	12-1 かかりつけ医がない理由	12-1 かかりつけ医がない理由	
	13 ご近所付き合い	13 ご近所付き合い	
	14 友人・知人と会う頻度	14 友人・知人と会う頻度	◇ 選択肢の変更
	15-1 多世代交流の必要性	15-1 多世代交流の必要性	
	15-2 多世代交流の頻度	15-2 多世代交流の頻度	
	16-1 地域のつながりの必要性	16-1 地域のつながりの必要性	
	16-2 地域のつながりの実感	16-2 地域のつながりの実感	
		17 地域支え合い活動にあるとよい内容	●
	18 地域支え合い活動への参加意向	●	
4. 支援を必要とする高齢者を支えるしくみづくりについて		18-1 地域支え合い活動に参加する際の障壁	●
		18-2 地域支え合い活動に参加する場合の立場	●
	17 地域活動やボランティア活動等の状況	19 地域活動やボランティア活動等の状況	
	17-1 今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向	19-1 今後の地域活動やボランティア活動等への参加意向	
	18 地域活動やボランティア活動等に参加しやすい形	20 地域活動やボランティア活動等に参加しやすい形	
	19 高齢者の身の回りの世話やボランティア活動への参加意向	21 高齢者の身の回りの世話やボランティア活動への参加意向	
	19-1 高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由	21-1 高齢者の身の回りの世話やボランティア活動に参加したくない理由	
	20 ボランティア活動をしたことに対する対価を受け取ることについて	22 ボランティア活動をしたことに対する対価を受け取ることについて	
5. 若年性認知症について	21 自分が担うことのできそうな支援・サービス	23 自分が担うことのできそうな支援・サービス	
	22 ボランティア活動を増やしていくのに必要なサポート	24 ボランティア活動を増やしていくのに必要なサポート	
	23 若年性認知症の認知度	25 若年性認知症の認知度	
	23-1 若年性認知症を知ったきっかけ	25-1 若年性認知症を知ったきっかけ	
	24 もの忘れ等気になる症状があった時の相談先	26 もの忘れ等気になる症状があった時の相談先	
	27 若年性認知症に対して必要な支援		

第2号被保険者調査

項目	平成28年度		令和元年度		備考
	26	27	28	29	
6. 在宅療養等について	26	介護が必要になった場合の生活場所	28	介護が必要になった場合の生活場所	
	27	高齢者が在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの	29	高齢者が在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの	
	28	在宅療養の意向	30	在宅療養の意向	
	29	在宅療養の可能性	31	在宅療養の可能性	
	29-1	在宅療養が難しいと思う理由	31-1	在宅療養が難しいと思う理由	
7. 人生の最終段階における医療について	30	最期を迎えたい場所	32	最期を迎えたい場所	
	31	ご家族と話し合った経験	33	ご家族と話し合った経験	
	31-1	全く話し合ったことがない理由	33-1	全く話し合ったことがない理由	
	32	エンディングノートの作成	34	エンディングノートの作成	
8. 緩和ケアについて	33	がんの「緩和医療・ケア」の認知度	35	がんの「緩和ケア」の認知度	◇
	34	がんの「緩和医療・ケア」の利用意向	36	がんの「緩和ケア」の利用意向	◇
	35	がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向	37	がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向	
9. 介護保険制度について	36	介護保険制度の周知状況	38	介護保険制度の周知状況	◇
	37	介護保険のサービスと費用負担について	39	介護保険のサービスと費用負担について	
10. 権利擁護について	38	成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人			×
			40	成年後見制度の認知度	●
	39	成年後見制度を利用する際、期待する役割	41	成年後見制度を利用する際、期待する役割	◇
	40	成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割			×
			42	成年後見制度の利用意向	●
			42-1	成年後見制度の利用したくない理由	●
			43	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときの成年後見制度の利用意向	●
			43-1	家族・親族の判断能力が十分でなくなったときに成年後見制度の利用したくない理由	●
	41	新宿区成年後見センターの認知度			×
11. 健康・福祉サービスの相談窓口について	42	高齢者総合相談センターの名称の認知度	44	高齢者総合相談センターの名称の認知度	
	43	高齢者総合相談センターの機能の認知度	45	高齢者総合相談センターの機能の認知度	
	44	高齢者総合相談センターの所在地の認知度	46	高齢者総合相談センターの所在地の認知度	
	45	地域で困っている高齢者を見かけた時の相談先	47	地域で困っている高齢者を見かけた時の相談先	
	46	在宅医療や介護が必要になった場合に望む相談体制			×
12. 自由意見	47	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	48	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	

ケアマネジャー調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度		令和元年度		備考
1. 貴事業所の概要について	1	事業所の組織(法人格)	1	事業所の組織(法人格)	
	2	居宅介護支援事業所のケアマネジャーの人数	2	居宅介護支援事業所のケアマネジャーの人数	
	3	介護保険サービス事業の運営状況			×
	3-1	運営しているサービス内容	3	運営しているサービス内容	◇ 設問文、選択肢の変更
2. あなたご自身のことについて	4	性別	4	性別	
	5	年齢	5	年齢	
	6	勤務形態	6	勤務形態	
	7	経験年数	7	経験年数	
3. ケアマネジメントの状況について	8	介護支援専門員以外に所有している資格	8	介護支援専門員以外に所有している資格	
	9	担当している人数	9	担当している人数	
4. 高齢者総合相談センターのケアマネジャーへの支援について	10	過去1年間で、支援困難と感じたケース	10	過去1年間で、支援困難と感じたケース	
	11	過去1年間で、虐待につながる可能性のあるケースを担当した経験及び回数	11	過去1年間で、虐待につながる可能性のあるケースを担当した経験及び回数	
	12	過去1年間の高齢者総合相談センターの利用状況	12	過去1年間の高齢者総合相談センターの利用状況	
5. 各種連携の状況について	12-1	高齢者総合相談センターに相談した分野	12-1	高齢者総合相談センターに相談した分野	
	12-2	高齢者総合相談センターに対する評価	12-2	高齢者総合相談センターに対する評価	
	13	主治医との連携状況	13	主治医との連携状況	
	14	主治医との連携における課題	14	主治医との連携における課題	
	15	病院との連携状況	15	病院との連携状況	
	16	病院との連携における課題	16	病院との連携における課題	
	17	介護保険サービス事業所との連携状況			×
	18	介護保険サービス事業所との連携における課題	17	介護保険サービス事業所との連携における課題	
6. 在宅医療への対応について	19	在宅医療・介護連携の状況	18	在宅医療・介護連携の状況	
	20	在宅医療・介護連携を推進するために必要なこと	19	在宅医療・介護連携を推進するために必要なこと	
	20-1	患者情報の共有のためにICTを活用すること	19-1	患者情報の共有のためにICTを活用すること	
	21	在宅医療相談窓口の活用状況	20	在宅医療相談窓口の活用状況	
7. ケアプランへの組み込みについて	21-1	在宅医療相談窓口で活用していること、期待していること	20-1	在宅医療相談窓口で活用していること、期待していること	
	22	退院直後の高齢者等の医療の継続のための対応	21	退院直後の高齢者等の医療の継続のための対応	
8. 在宅高齢者に必要な支援について	23	ケアプランの作成にあたって、組みにくいと思うサービスとその理由	22	ケアプランの作成にあたって、組みにくいと思うサービスとその理由	◇ 選択肢の変更
	24	ケアプラン作成時に検討する介護保険以外の高齢者福祉サービス	23	ケアプラン作成時に検討する介護保険以外の高齢者福祉サービス	◇ 選択肢の変更
9. 認知症について	25	高齢者が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うもの	24	高齢者が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うもの	
	26	在宅で暮らし続けるために、今後必要なサービス	25	在宅で暮らし続けるために、今後必要なサービス	
9. 認知症について	27	認知症高齢者への支援にあたって、特に重要と思われること			×
	28	認知症に関して相談のできる機関の有無	26	認知症に関して相談のできる機関の有無	
	28-1	認知症に関する相談先	26-1	認知症に関する相談先	◇ 選択肢の変更

ケアマネジャー調査

項目	平成28年度		令和元年度		備考
10. 在宅療養・看取りについて	29	看取りをサポートする場合、特に欠かせないと思うこと	27	看取りをサポートする場合、特に欠かせないと思うこと	
	30	過去1年間で看取りをしたケース及び回数	28	過去1年間で看取りをしたケース及び回数	
11. ケアマネジャーの仕事について	31	ケアマネジャーの仕事についての考え	29	ケアマネジャーの仕事についての考え	
12. スキルアップについて	32	研修への参加状況	30	研修への参加状況	
	32-1	スキルアップにつながる研修内容	30-1	スキルアップにつながる研修内容	
13. 今後の意向について	33	ケアマネジャーの仕事の継続意思	31	ケアマネジャーの仕事の継続意思	
	33-1	ケアマネジャーの仕事が続けたくない理由	31-1	ケアマネジャーの仕事が続けたくない理由	◇ 選択肢の変更
	33-2	ケアマネジャーの仕事の継続について迷っている理由	31-2	ケアマネジャーの仕事の継続について迷っている理由	
14. 新宿区への要望について	34	新宿区に対して望むこと	32	新宿区に対して望むこと	◇ 選択肢の変更
	35	新宿区の高齢者支援に対する評価	33	新宿区の高齢者支援に対する評価	◇ 設問項目の変更
	36	最も関わりの深い特別出張所管轄	34	最も関わりの深い特別出張所管轄	
	36-1	管轄地域についての評価	34-1	管轄地域についての評価	
15. 自由意見	37	在宅介護についての自由記述	35	在宅介護についての自由記述	

介護保険サービス事業所調査

赤字は平成28年度調査からの修正

●:新規 ◇:変更あり ×:削除

項目	平成28年度		令和元年度		備考	
1. 貴事業所の概要について	1	事業所の組織(法人格)	1	事業所の組織(法人格)		
	2	事業所の属する法人の事業エリア			×	
2. 収支状況・処遇改善の状況について	3	本年度の収支状況	2	本年度の収支状況		
	4	昨年度と比較した収支状況	3	昨年度と比較した収支状況		
	5	処遇改善の実施状況	4	処遇改善の実施状況		
	5-1	処遇改善の効果	4-1	処遇改善の効果		
	6	収支の向上や改善を図るにあたっての考え方			×	
	7	収支の向上や改善に向けて行っている取り組み	5	収支の向上や改善に向けて行っている取り組み	◇	選択肢の変更
3. 事業所で取り扱っているサービスについて	8	提供しているサービス、受入状況、経営状況、今後4年間の事業展開	6	提供しているサービス、受入状況、経営状況、今後4年間の事業展開	◇	設問項目の変更
4. 今後の参入意向について	9	小規模多機能型居宅介護への参入について	7	小規模多機能型居宅介護への参入について		
	9-1	小規模多機能型居宅介護への参入課題	7-1	小規模多機能型居宅介護への参入課題		
	10	看護小規模多機能型居宅介護への参入について	8	看護小規模多機能型居宅介護への参入について		
	10-1	看護小規模多機能型居宅介護への参入課題	8-1	看護小規模多機能型居宅介護への参入課題		
5. 総合事業について	11	総合事業に取り組むために必要なこと	9	総合事業に取り組むために必要なこと		
6. 人材の確保・定着・育成について	12	人材の確保の状況	10	人材の確保の状況		
	13	人材の確保についての取り組みの内容	11	人材の確保についての取り組みの内容	◇	選択肢の変更
	14	1年間の離職率	12	1年間の離職率		
	15	人材の定着・育成についての取り組み	13	人材の定着・育成についての取り組み		
	16	職員のスキルアップに必要な実習・研修	14	職員のスキルアップに必要な実習・研修		
	17	人材の定着・育成における課題	15	人材の定着・育成における課題		
7. 高齢者総合相談センターの事業所への支援について	18	高齢者総合相談センターへの相談状況	16	高齢者総合相談センターへの相談状況		
	18-1	相談した分野	16-1	相談した分野		
	18-2	高齢者総合相談センターに対する全般的な評価	16-2	高齢者総合相談センターに対する全般的な評価		
8. 各種連携の状況について	19	ケアマネジャーとの連携状況			×	
	20	ケアマネジャーとの連携における課題	17	ケアマネジャーとの連携における課題		
	21	在宅医療・介護連携の状況	18	在宅医療・介護連携の状況		
	22	在宅医療・介護連携を推進するために必要なこと	19	在宅医療・介護連携を推進するために必要なこと		
	22-1	患者情報の共有を行うためにICTを活用することについて	19-1	患者情報の共有を行うためにICTを活用することについて		
9. 介護保険によらないサービスについて	23	介護保険制度によらないサービスの提供状況	20	介護保険制度によらないサービスの提供状況		
	23-1	介護保険制度によらないサービスの種類	20-1	介護保険制度によらないサービスの種類		
	24	今後提供したい(続けたい)介護保険制度によらないサービス	21	今後提供したい(続けたい)介護保険制度によらないサービス		
10. 地域貢献活動について	25	地域とかかわる活動の実施状況	22	地域とかかわる活動の実施状況		
	25-1	地域とかかわる活動を実施している理由	22-1	地域とかかわる活動を実施している理由		
	25-2	地域とかかわる活動の内容	22-2	地域とかかわる活動の内容		
	26	今後実施したい(続けたい)地域とかかわる活動	23	今後実施したい(続けたい)地域とかかわる活動		
11. 在宅医療への対応について	27	在宅医療相談窓口の活用状況	24	在宅医療相談窓口の活用状況		
	27-1	在宅医療相談窓口で活用していることや期待すること	24-1	在宅医療相談窓口で活用していることや期待すること		

介護保険サービス事業所調査

項目	平成28年度		令和元年度		備考
	28	過去1年間で、看取りをしたケース及び回数	25	過去1年間で、看取りをしたケース及び回数	
12. 看取りについて	28	過去1年間で、看取りをしたケース及び回数	25	過去1年間で、看取りをしたケース及び回数	
	29	看取りをサポートする場合、特に欠かせないと思うこと	26	看取りをサポートする場合、特に欠かせないと思うこと	
13. 尊厳の保持についてについて			27	尊厳保持の取組	● 平成28年度施設等調査の設問※変更なし
14. 身体拘束等の廃止の取組について			28	身体拘束廃止に向けた取組	●
15. 新宿区への要望	30	新宿区に対して望むこと	29	新宿区に対して望むこと	◇ 選択肢の変更
	31	新宿区の高齢者支援に対する評価	30	新宿区の高齢者支援に対する評価	◇ 選択肢の変更
16. 自由意見	32	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	31	高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見	
			32	今後の事業展開についての考えや意見	●